

とちぎ歯の健康センターだより

- 《特集》特別支援学校で行っている指導の事前アンケート結果
- とちぎ歯の健康センター事業案内

No.18
2012
3月15日発行



栃木県・栃木県歯科医師会



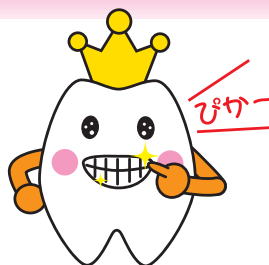
(障害者マーク)

特別支援学校で行っている指導の 事前アンケートの結果から

とちぎ歯の健康センターでは、栃木県で行っている永久歯等対策事業のひとつとして、県内で希望のあった特別支援学校の1年生とその保護者を対象に、センターの歯科衛生士が学校に出向いて歯科保健指導を行っています。今回は事前に行っているアンケート調査を分析した結果をご報告します。

保護者にお聞きした項目

- ① ふだんの歯みがきの状況
- ② うがいの可否
- ③ 最近の健診結果
- ④ 口の中のことについて困っていること

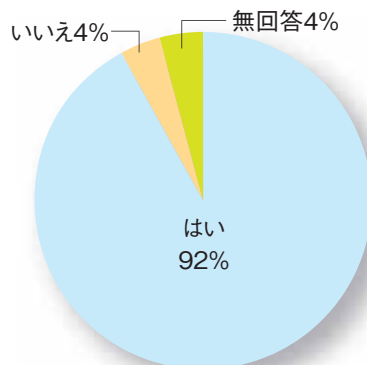


ふだんの歯磨きについて

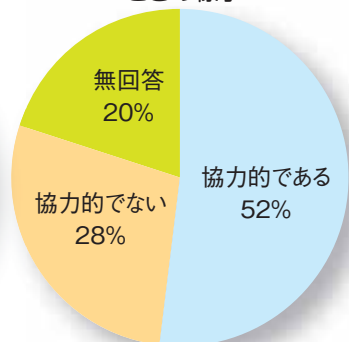
分析からわかったこと

- ① ふだんの歯みがきの状況
 - 家で積極的に歯みがきを行っている人が多く、半数以上のお子さんが保護者の手伝いに協力的であるという結果でした。学校の先生方の意識の高さと日常生活の中での努力がうかがえました。

保護者が手伝っている(時々も含め)

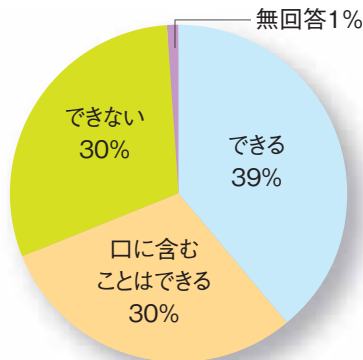


歯みがきを手伝っているときの様子



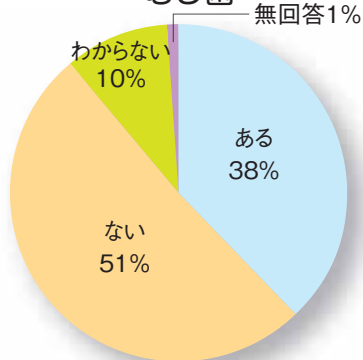
- ② うがいの可否
 - ぶくぶくうがいができない子に歯みがき剤を使ってよいのか、が保護者の悩みのひとつになっていることがわかりました。

ブクブクうがいはできますか

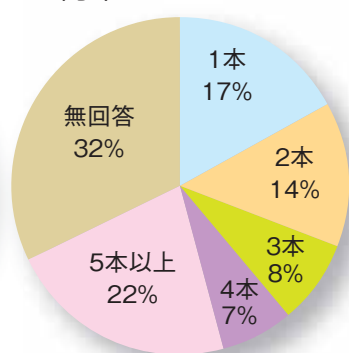


- ③ 最近の健診結果
 - むし歯があると答えた人のうち、治療をしていない人は40人(55.3%)でした。治療のために歯科医院に通うことがむずかしい人が多いのではないのでしょうか。

診断の結果
むし歯



何本ありましたか



4 口の中のことについて困っている
特別支援学校の保護者の悩みについて
(重複あり)

Keyword	回答者%
歯みがき	16.5
歯並び	8
受診困難	4
うがい	4
歯ぎしり	3
口内炎	2.5
歯磨き粉	2
口 臭	1.5
着 色	1.5
開 口	1
過 敏	1
舌磨き	0.5
指しゃぶり	0.5
唾 液	0.5
自己抜去	0.5
誤飲不安	0.5
その他	4.5
特になし (無記載)	58
合 計	110

対象：特別支援学校1年生の保護者119名

- 特別支援学校では「歯みがき」「受診困難」が多く、健常児では「う蝕」が多いという結果でした。
- 「過敏」「自己抜去」「誤飲不安」など、幼稚園では見られない項目がありました。
- 特別支援学校では健常児とは違った悩みがあることがわかりました。

西宮市の幼稚園(健常児)の保護者の悩みと比べてみると…

Keyword	回答者%
齲 蝕	12
歯 列	7
悪習癖	6
歯ぎしり	4
着 色	4
歯数異常	3
間 食	2
歯みがき	2
歯 石	1
歯医者を嫌がる	1
フッ素	1
歯の変色	1
特になし	56
合 計	100

対象：幼稚園(3~6才の健常児)の保護者85名

金澤真亨ほか：幼稚園での歯科健診とその事後評価について、
小児歯誌, 48, 139.



ま と め

障害を持つ人たちの歯科保健指導はとても難しい一面があります。ひとりひとりの疾患の特性や知的能力、運動機能だけではなく、体調や情緒、子どもたちを取り巻く療育環境にも配慮しなければなりません。多くの人が家庭で歯みがきができていることに、現場で指導にあたる先生方や学校歯科医のご努力に敬意を表します。

本来、多因子性疾患であるう蝕は家庭での生活環境に左右されることが多いものです。保護者の方たちは、「うがい」と「歯みがき粉」の悩みを加えた「歯みがき」について悩んでいます。

そこでちょっと発想を転換してみてもはいかがでしょうか？

「歯みがき」を日常の生活習慣と考えて、手を洗ったり、顔を洗ったりすることと同じように考えてみてはいかがでしょうか？

食事をおいしく楽しくできるような工夫と同じように、歯みがきも楽しいことにする工夫が必要です。保護者や先生方も、子どもたちと一緒に楽しんで歯みがきをする環境(=生活習慣)づくりが健康な口を育てる第一歩です。

それともう一つの提案です。かかりつけ歯科医を見つけましょう。これからの長い時間、子どもたちの口の中を見守ってくれるかかりつけ歯科医の存在はとても重要です。

口の中のことはかかりつけ歯科医に任せて、肩の荷を降ろすことができると良いですね。



とちぎ歯の健康センター

事業案内



障害者歯科診療所

とちぎ歯の健康センター診療所は、専任歯科医師1名、非常勤歯科医師4名、輪番制協力歯科医師86名、常勤歯科衛生士6名で診療を行っています。

スタッフは、患者さんが安心して楽しく通院できるように、日々心がけています。



視察・研修会

県民や行政・団体などを対象に、歯についての講習会や実習を伴う視察研修を行っています。

その他、歯科医療関係者の研修会も開催しています。



展示コーナー・図書資料室

センター2階の展示コーナーには、各ライフステージに応じた口腔ケアのパネルや模型等を展示しています。

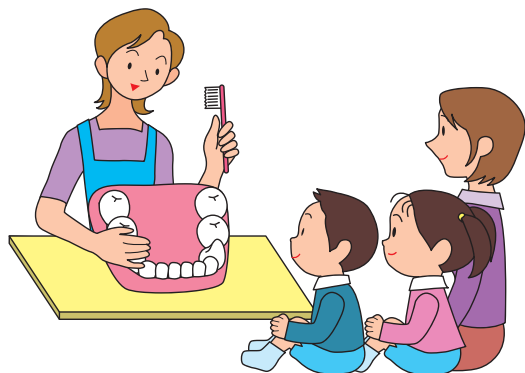
図書資料室は図書やビデオ等を備えてあり、自由に閲覧ができます。



永久歯等対策事業

県内の保育所(園)・幼稚園の園児と保護者を対象に、「6歳臼歯」を中心に歯科保健指導を行っています。

また、要請のあった障害児通園施設の園児と保護者、特別支援学校の児童と保護者を対象に歯科保健指導を行っています。



乳幼児健全育成事業

要請のあった県内の健康福祉センターの乳幼児と保護者を対象に歯科保健指導を行っています。

- 県東健康福祉センター
- 県西健康福祉センター
- 県南健康福祉センター
- 県北健康福祉センター
- 安定健康福祉センター
- 今市健康福祉センター

巡回歯科診療

歯科巡回診療バス「ルリちゃん号」で、県内のへき地や障害者施設及び高齢者施設等へ歯科医師・歯科衛生士を派遣しています。

昨年3月の大震災の際「ルリちゃん号」は、宮城県に貸し出され、各地で活躍してきました。

◇へき地巡回診療

無歯科医地区を有する市町の中で、要請のあった地域を訪問し、地域住民の希望者に歯科診療を行っています。

◇施設巡回歯科健診

希望のあった障害者施設及び高齢者施設を訪問し、歯科健診を行っています。



上記事業を希望される方は、当センターにご連絡ください。

キシリトールのおはなし

キシリトールは、白樺や樺の木などに含まれる成分からできた天然甘味料です。糖アルコールと呼ばれる炭水化物の一種で、砂糖と同じくらいの甘さがあります。イチゴやほうれん草などにも含まれ、私たちの肝臓でも毎日作られています。

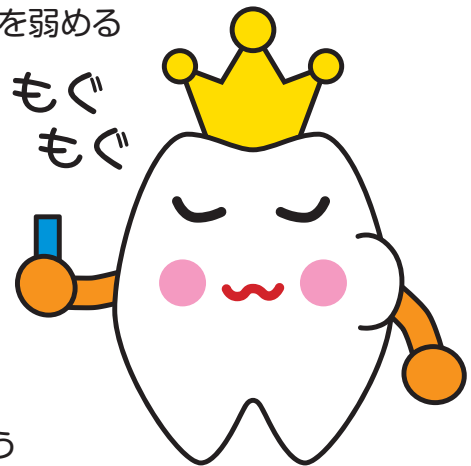
キシリトールの良いところ

- ♡むし歯菌の栄養となる酸を作らないので菌の活動を弱める
- ♡歯垢(プラーク)を減らす
- ♡歯の再石灰化を促進する

効果的な摂り方

- ♡1日3回摂る
- ♡食事やおやつあとの摂る
- ♡継続して摂る

※食べ過ぎるとお腹がゆるくなるので気をつけましょう



キシリトールをとっていてもむし歯を防げるということではありません。生活習慣を整え、歯をみがき、定期的に歯科医院で健診を受けるようにしましょう。

とちぎ歯の健康センター

《ホームページ》 <http://www.tochigi-da.or.jp/center.html>

利用のご案内

開館時間

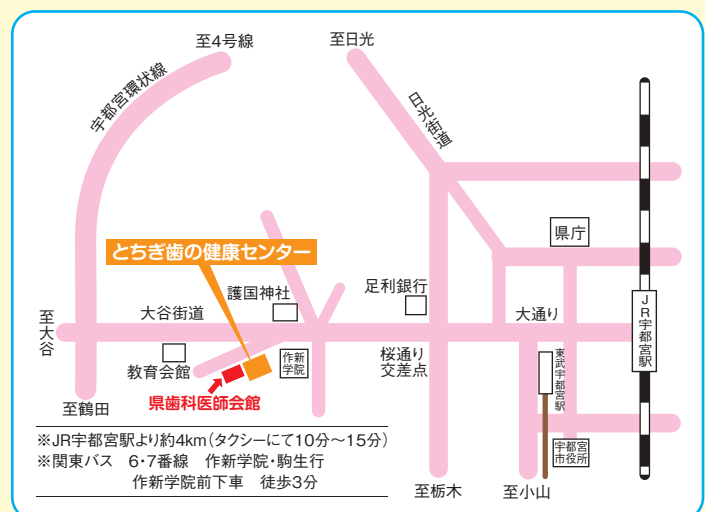
障害者の歯科診療 午前9時～12時
(予約制) 午後1時30分
～4時30分

(予約直通) ☎028(648)6472

歯科相談・指導 } 午前9時～
(電話・来所) } 午後4時30分
展示コーナー }

休館日

土・日・国民の祝日
年末・年始(12月28日～1月4日)



とちぎ歯の健康センター 代表者 柴田 勝

発行責任者 宇都宮市一の沢2丁目2番5号

☎028(648)6480 (代表)

印刷所/株松井ピ・テ・オ印刷 宇都宮市陽東五丁目9番21号 TEL028(662)2511